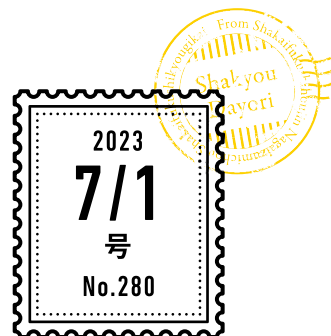


社協だより



長泉町遺族会は、戦没者の遺族として英霊を顕彰し、慰霊行事や長霊神社と遺族会館の維持管理などを行っています。毎年8月に町主催で行われる戦没者を追悼し平和を祈念する式典への参加や、静岡護国神社参拝などを通し、戦争の悲惨さ、平和の大切さを伝える活動を今後も続けていきます。



静岡県長泉町遺族会
会長 米山正史さん

「社協だより」へのご意見を お聞かせください!

いつも社協だよりをご覧いただき、ありがとうございます。社会福祉協議会では、会員の皆さんへより読みやすく、親しみの持てる広報紙をお届けするため、「社協だより」のアンケート調査を行います。いただいたご意見を今後の広報紙制作の参考とさせていただきます。なお、回答をお寄せいただいた方の中から抽選で50人に1,000円分のクオカードをプレゼントいたします。ぜひご協力お願いいたします。

【回答方法】オンライン・郵送で回答を受け付けます。本誌折込のアンケートチラシを回答用紙としてお使いいただけますので、郵送での送付にご活用ください(郵送の際は別途切手が必要となります)。

■オンライン回答フォーム

(<https://forms.gle/55c9LwCdKHzzqv6c7>)

【実施期間】令和5年7月1日(土)～8月31日(木) 当日消印有効

【回答資格】町内在住・在勤者 ※回答は1人1回限り

【お問い合わせ先】

社会福祉法人長泉町社会福祉協議会

TEL.055-988-3920

✉ bureau@nagaizumi-shakyo.jp

ご回答は
こちらから
できます。



NEWS >> 01

夏休み子ども手話教室を開催します

夏休みに手話を学んで、かんたんなあいさつや自己紹介ができるように、がんばろう!

【日時・場所】7/29(土)・30(日) 10:00～12:00 長泉町福祉会館

【対象】町内在住の小・中学生(保護者の参加歓迎)

【定員】20人 【参加費】無料

【申込期間】7/3(月)～7/21(金) ※定員を超えた場合は抽選

【申込み】下記連絡先へ必要事項を伝えてお申し込みください

必要事項 ①氏名(フリガナ)、②郵便番号、③住所

④電話番号、⑤学校名・学年

長泉町社会福祉協議会

TEL.055-988-3920

FAX.055-986-3794

✉ bureau@nagaizumi-shakyo.jp



NEWS >> 02

フードドライブにご協力ください

フードドライブとは、家庭などに眠っている食品を集めてフードバンクに寄付する食品寄付運動の事です。寄付していただいた食品は、行政や社会福祉協議会、支援団体を通じて食べるものがなくて困っている方々にお渡しします。



【募集期間】8/1(火)～8/31(木)

8:15～17:15(土・日・祝は受け付けできません)

【希望商品】賞味期限が11月以降で、未開封かつ、パッケージが破損していない以下の食品。穀類(米、麵、小麦粉)、保存食品(缶詰、瓶詰)、インスタント食品、調味料、ふりかけ、のりなど常温で保存がきくもの、ベビーフード、ミルク、飲料(ジュース、お茶、コーヒーなど)
※缶詰や非常食など調理の手間がいらぬ食品が不足気味です。
※アルコール飲料や栄養剤などは受け付けできません。

【収集場所】福祉会館3階 長泉町社会福祉協議会事務局

【実施主体】NPO法人フードバンクふじのくに

【問合せ】長泉町社会福祉協議会 TEL.055-988-3920

NEWS >> 03

福祉会館浴室・大広間夜間営業のご案内

今年も7/1(土)から12/27(水)までの6カ月間延長します。10:00から19:30までご入館いただけ、20:30までご利用いただけます。ただし、光熱費の高騰などやむを得ない事情により夜間営業を急遽中止する場合もございますので、ご理解をお願い致します。

NEWS >> 04

傾聴(お話相手)サロン『ふらっとサロン』ご案内

【日時】7/28(金)、8/25(金)、9/22(金)
13:30～15:00

【場所】長泉町福祉会館

【参加費】無料

【お話し相手】傾聴ボランティアふらっと会員(秘密は厳守します)

【申込み】不要。気軽にお立ち寄りください。

【問合せ】長泉町社会福祉協議会

TEL.055-988-3920(担当:八木)



NEWS >> 05

子どもの居場所立ち上げ講座受講生募集

地域の子どもの地域の人たちでともに見守り支えあう活動について学びませんか?

【日時】8/19(土)

13:30～15:30

【場所】いずみの郷 3階 集会室

【内容】仲間づくりを目的とした意見交換会と情報共有について社協職員とともに意見交換をしましょう。

【対象】町内在住、在勤の方で居場所づくりに関心がある方

【定員】40名

【参加費】無料

【申込期限】8/17(木)

【申込先】長泉町社会福祉協議会(担当:八木)

二次元コードまたは、電話、メールでお申込みください。

TEL.055-988-3920

✉ bureau@nagaizumi-shakyo.jp

※駐車場に限りがあるので、ご案内する
駐車方法にご協力お願いします。



NEWS >> 06

やさしい心ありがとう

【物品寄付(清拭布、使用済切手、野菜他)】

富樫友子、碓井民子(わかば農園)、坂間佳子、原分スマイルクラブ、永倉精麦株式会社、土山夕起子、阿部浩二、その他匿名7人(敬称略)

【寄付金・寄贈品】

今井啓、株式会社芹澤工業 代表取締役 芹澤良一、その他匿名3人(敬称略)

ご厚志に深く感謝申し上げます。(4/11～6/15)

社会福祉協議会では次の相談に応じていますのでご利用ください。(月～金曜日、祝日は除く)

ボランティア相談／地域福祉について 8:15～17:00 TEL.055-988-3920(代表)

生活福祉資金貸付制度／住居確保給付金 8:15～17:00 TEL.055-988-3920(代表)

生活困窮相談(自立相談支援事業・家計相談支援事業)／福祉総合相談 8:15～17:00 TEL.055-987-7680

社会福祉法人 長泉町社会福祉協議会 長泉町下土狩967-2 福祉会館内

TEL.055-988-3920 FAX.055-986-3794

<http://www.nagaizumi-shakyo.jp> ✉ bureau@nagaizumi-shakyo.jp



HP



Facebook



Instagram



LINE

災害時の助け合い(ボランティア)活動に関する座談会



いつ、どこで、どんな災害が発生するかわからない今、災害を自分事として考えるために、座談会を開催しました。座談会には、区長、自主防災会、民生委員・児童委員、消防団、企業、ケアマネジャー、ボランティア団体など、さまざまな方が参加しました。

第1部では、令和3年7月の豪雨災害で被災された富士市・熱海市在住の方、地元消防団の方から、「被災するとどうなるか」「どんなことに困るのか」などの実体験のお話をいただき、災害を身近に感じる機会となりました。

私は、被災したときに「困った」「助けて」という声を出すことはできませんでした。しかし、社協さんと出会って、助けてくれる人がいることを知り、多くの方に助けていただきました。地域には、困っているけど声を出せない人がいます。声を出せない人の代わりに声を出してあげることで、そして、日頃からちょっとした隣近所の気の掛け合いを大切にしていきたいと思っています。



富士市民(被災者)
杉本照美さん

熱海市消防団
第四分団分団長
押田貴史さん



発災当初は、何も情報が入ってこなくて、消防団としての活動はできませんでした。発災から2〜3カ月は無我夢中で活動してきましたが、活動が安定してきたときに、自分が被災したことを徐々に実感しました。自分たちの消防団だけではできないことが多く、消防団同士の横のつながりや、いろいろな団体と普段からつながっていることが重要だと感じました。

第2部は、災害ボランティアネットワーク長泉や長泉町赤十字奉仕団と協働で災害時のボランティアセンターの立ち上げ訓練の見学会をZoomで行いました。雨天のため室内で行われましたが、災害時のボランティアセンターのことについて知っていただくことができました。



長泉町赤十字奉仕団 川上和代さん

地震大国日本では、地震がいつどこで起きてもおかしくありません。その時私たちができる活動の一つが食料の確保です。備えあれば憂いなしですが、現実には、混乱に陥るため自助・共助を発揮し乗り越えましょう。赤十字奉仕団は、炊き出し訓練を通じて仲間作り、料理方法(包装食)を学び、災害時にいかしていきます。



災害ボランティアネットワーク長泉 平井寛さん

災害支援は、被災者の生活の多様化などによりさまざまな困りごとが発生し対応が難しくなる一方で、NPOが直接被災地に入るなど支援も多様化しています。この中で災害ボランティアセンターにも多様な人に関与していただくことが重要です。今回、行政・自治会・団体などの人たちに集まっていただき、共に学んだ機会と捉え、今後、災害ボランティアセンターの運営にどう関わっていくか議論できたらと考えています。



座談会に参加した方の声

本宿区 区長
坂間福司さん



今回の座談会では、県内の被災地域で活動された方のリアルな経験談を聞き、災害発生時における社会福祉協議会の役割の大きさや重要性を改めて認識しました。また、自治会の長として災害発生時、行政・社会福祉協議会との密接な連携・協働による支援活動が早期復旧の大きな力になるとの意を強くしました。

長泉町消防団 団長
小林一明さん



熱海市、富士市で被災された方、市社協、消防団の皆さんから「メディア報道前、被災直後の初動」を聞くことができ、大変参考になりました。消防団一同、災害には万全の態勢で対応できるよう訓練に精進いたします。年々団員減少が続いており、地域のため消防団として「共助の精神」で活動できる方を募集しております！



災害が発生したとき、
あなたはどうしますか？
どんな災害であっても「身の危険を感じたら避難すること」は想像できるかもしれませんが、では、「被災してしまった後の家や家財の片づけ」は想像できますか？

ふだんのくらしから しておこう被災した時のこと

近年、全国で発生している災害は、地震、津波、風水害などさまざまな種類があり、県内においても水害や竜巻が多く発生しています。ひとたび、災害が発生すると生活に大きな影響を及ぼしますが、その中でも生活をしていなくてはなりません。

生活を立て直すために、個人のものは自分たちで片づけます(自助)が、自分たちだけではできないこともあります。その時は、住民同士による助け合い(ボランティア)活動(共助)で解決できることがあります。

災害によって、生活上の困りごとが発生し「ボランティアの力」を借りたい時は、社会福祉協議会に設置される災害ボランティアセンターにご相談ください。

災害時の困りごと 相談の流れ

01

被災した…
まずは安全確保



02

自身で片づける
のが困難…



05

ボランティアの
力を借りる



04

災害ボランティア
センターで
活動内容を調整



03

窓口や電話で
困りごとを
相談する



災害ボランティアセンターは、「困っている人」と「何かできる人」を
“調整し、つなぐ”機能として活動します。

社会福祉協議会では、災害時の助け合い(ボランティア)活動に関する啓発活動や講座・研修などを定期的に開催しています。本年度は、11月に災害ボランティアに関する講座を予定しています。詳細は、本会ホームページでご案内します。また、本会ホームページには災害時の助け合い活動に関するパンフレットも掲載しています。

ホームページ ▶ <https://www.nagaizumi-shakyo.jp/>



パンフレット